

総務大臣祝辞

総務大臣 野田 聖子



総務大臣の野田聖子です。

全相協、全国行政相談委員連合協議会、設立50周年記念式典の開催にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

行政相談委員の皆様は、地域の身近な相談役として、行政と国民をつなぐ懸け橋の役割を果たす、重要な活動をしておられます。

全相協は、このような行政相談委員の発意で昭和44年3月に設立されたと伺っております。

以後、今日までの50年間、行政相談を普及啓発する資料の作成・配付、行政相談委員の活動を記載した「季刊行政相談」の発行など、委員活動の支援に御尽力いただいていることに、感謝の意を表します。

行政相談委員の皆様が、たったひとりご定例相談所を開設したものの、どのような相談が来るのか分からず不安を抱えている時、あるいは行政相談制度を地域住民に知ってもらおうよい方法が見つからず悩んで

いる時に、全相協が発行する「季刊行政相談」などの資料が大変役に立ったのではないのでしょうか。

また、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害が発生した際に、委員自らが被災されながらも、被災者の生活の再建のため、災害発生からさほど時間をおかずに相談所を開設するなど、被災地住民の復興のために尽力された委員がいらっしゃいます。このような時、被災地の委員や地域の協議会に対する全相協の支援は、大変心強く思われたのではないのでしょうか。

全相協は、行政相談委員の活動を支援する事業を展開されているほか、総務省が実施する行事や、国際オンブズマンなどの国際交流事業に対し、積極的にご支援・ご協力をいただいております。

この場をお借りして、総務省を代表し、厚く御礼申し上げます。

総務省は、性別や世代を超えて、全ての人々が力を合わせて幸せに暮らしていける

る、「落ち着いて、やさしく、持続可能な社会」の実現に向け、政策を推進してまいります。こうした社会の実現のためには、地域住民の声によく耳を傾け、きめ細やかに対応していくことが重要であり、地域の方々の身近な相談役として日々活躍しておられる行政相談委員の皆様には、これからも大きな役割を担っていただきたいと思っております。

50周年は、全相協にとって大きな節目であると存じます。

今後とも、行政の民主的な運営の実現のために日々活躍されている行政相談委員の皆様活動を支援する事業を一層充実させ、次の60周年を目指していただきたいと存じます。

全相協及び全国の行政相談委員の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、わたくしからのお祝いのメッセージをいたします。

本日は、誠におめでとうございます。

(ビデオメッセージ)